

**製品名: JNK2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12846**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	48kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAPK9 MAPK9; JNK2; PRKM9; SAPK1A; Mitogen-activated protein kinase 9; MAP kinase 9; MAPK 9;
別名	JNK-55; Stress-activated protein kinase 1a; SAPK1a; Stress-activated protein kinase JNK2; c-Jun N-terminal kinase 2
遺伝子 ID	5601.0
SwissProt ID	P45984
免疫原	抗血清はヒト MAPK9 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 246-295

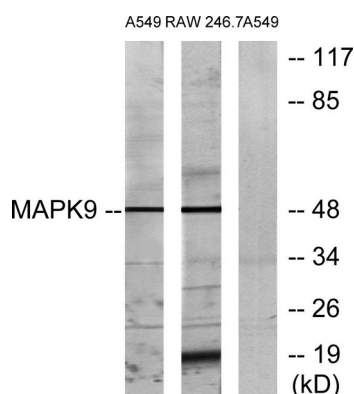
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、MAPキナーゼファミリーのメンバーです。MAPキナーゼは、複数の生化学的シグナルの統合点として機能し、増殖、分化、転写調節、発達など、さまざまな細胞プロセスに関与しています。このキナーゼは特定の転写因子を標的とし、さまざまな細胞刺激に応答して遺伝子発現前初期を調節します。このキナーゼは MAPK8 と最も密接に関連しており、どちらも紫外線誘導性アポトーシスに関与し、シトクロム c を介した細胞死の経路に関連すると考えられています。この遺伝子と MAPK8 は、c-Jun N 末端キナーゼとしても知られています。このキナーゼは、腫瘍抑制因子 p53 のユビキチン化を阻害し、ストレスを受けていない細胞における p53 の安定性を高めます。この遺伝子のマウスにおける対応遺伝子の研究では、T 細胞分化において重要な役割が示唆されています。いくつかの代替触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。ドメイン: TXY モチーフには、MAPキナーゼを活性化するスレオニンおよびチロシン残基が含まれています。酵素制御: MAP2K4 および MAP2K7 という 2 つの二重特異性キナーゼのいずれかによるスレオニンおよびチロシンリン酸化によって活性化されます。DUSP1 などの二重特異性ホスファターゼによって阻害されます。機能: JNK2 アイソフォームはそれぞれ異なる結合パターンを示します。α-1 および α-2 は c-Jun に優先的に結合しますが、β-1 および β-2 は ATF2 に結合します。しかし、結合とリン酸化の間には相関関係はなく、リン酸化はすべてのアイソフォームでほぼ同じ効率で達成されます。JUNB は JNK2α2 の基質ではなく、JUND はそれに弱くしか結合しない。機能: 環境ストレスや炎症性サイトカインによる活性化に応答し、c-Jun や ATF2 など、主に AP-1 の構成要素である多数の転写因子をリン酸化することで、AP-1 の転写活性を制御する。T 細胞において、JNK1 と JNK2 は T ヘルパー細胞から Th1 細胞への分化に必須である。PTM: Thr-183 と Tyr-185 が二重にリン酸化され、酵素を活性化する。in vitro で自己リン酸化される。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。CMGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。MAPキナーゼサブファミリー。類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含む。サブユニット: 少なくとも 4 つの足場タンパク質、MAPK8IP1/JIP-1、MAPK8IP2/JIP-2、MAPK8IP3/JIP-3/JSAP1、および SPAG9/MAPK8IP4/JIP-4 に結合します。これらのタンパク質は、JNK シグナル伝達経路の他の構成要素にも結合します。NFATC4 と相互作用します。、

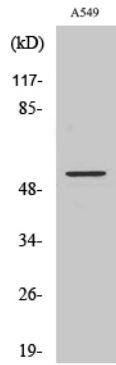
## 研究分野

Toll\_Like; 細胞増殖; 幹細胞経路; インスリン受容体; MAPK\_ERK\_Growth; MAPK\_G\_Protein; ErbB/HER; B 細胞受容体; SAPK\_JNK; WNT; WNT-T 細胞; β-カテニン

## 画像データ



MAPK9 抗体を用いた A549 細胞および RAW264.7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



JNK2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析